

# 取扱説明書

## モバイルアシスト®アプリケーション for Android

---

(ET-MAAPA)

Ver 4. X. XX

このたびは、本アプリケーションをご利用頂きまことにありがとうございます。  
この「取扱説明書」は、モバイルアシスト®アプリケーション（以降本アプリケーションまたはアプリケーションと記載）をご利用する場合に使用します。  
よくお読みの上、内容を理解してからお使いください。  
●この「取扱説明書」に記載されていない機能については、主装置の取扱説明書または、モバイルアシスト®機能の取扱説明書をご覧ください。  
●主装置のデータ設定については、販売店にご依頼ください。

## ■本取扱説明書全体の注意点について

- 本取扱説明書及び本アプリケーションの一部または全部を無断で複製・転載することは、固くお断りします。
- 本取扱説明書及び本アプリケーションの内容について、改良・仕様変更のため予告なしに変更することがあります。
- 本取扱説明書中のイラスト及び画像は、説明用のため実際とは多少異なる場合があります。また、説明に関係のない部分を一部省略している場合があります。
- 本取扱説明書中における端末（OS）側の設定に関する記載の表現や手順等は一例であり、ご利用の機種によっては、一部の表現や手順等が異なる場合があります。

## ■本取扱説明書に記載の各社商標について

- 「モバイルアシスト」は、株式会社ナカヨの登録商標です。  
（表紙を除き、本取扱説明書内では「®」を明記しておりません。）
- AndroidはGoogle LLCの商標または登録商標です。
- その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

## 主な特長

### ワンタッチでモバイルアシスト機能が利用できます。

主装置電話番号を毎回ダイヤルする必要がありません。特番を事前にアプリケーションに登録することで主装置電話番号や特番を覚える必要もありません。

### 端末の電話帳を利用できます。

スマートフォンの標準電話帳に登録されている連絡先を利用して主装置経由で発信することができます。

### 主装置WEBにワンタッチで接続できます。

携帯ブラウザ連携機能が利用可能な場合、ワンタッチボタンに主装置WEBボタンを設定することで、ワンタッチで主装置に接続できます。

### 本アプリケーションから発信した履歴を標準電話アプリとは別に管理できます。

モバイルアシストは、必ず主装置経由で利用するため、標準の電話アプリには主装置の電話番号が履歴に残りますが、本アプリケーションの履歴には、主装置電話番号を除いた電話番号や特番のみ表示します。

### 主装置経由の着信時に発信元の内線番号や外線番号の情報を取得できます。

主装置からの着信時、発信元の番号情報を取得し、発信者情報表示ダイアログ/発信者情報表示バナー(以降ダイアログ/バナー)に表示することが可能です。ご利用のネットワーク環境によっては、ダイアログ/バナーが正しく表示されないことがあります。

※本機能は以下バージョンにて利用可能です。

- ・iFシリーズ 主装置プログラム版数：5-1版～ 及び 本アプリケーションバージョン：1.1.00～

### 外部アプリケーションと連携して本アプリケーションの起動～発信を行うことができます。

外部アプリケーションに表示されている電話番号をタップすることで本アプリケーションを起動し、各種発信を行うことが可能です。

※本機能は以下バージョンにて利用可能です。

- ・本アプリケーションバージョン：2.0.00～

### IPBT電話機と連携して電話番号転送からの主装置経由の発信または本アプリケーションからの携帯発信ができます。

主装置に接続したIPBT電話機とBluetoothでペアリングし、本アプリケーションからIPBT電話機へ電話番号を転送して主装置経由の発信または本アプリケーションからの携帯発信が可能です。

また、本機能の利用においては、主装置へのモバイルアシスト機能用ライセンスキーの登録が不要です。

※本機能は以下バージョンにて利用可能です。

- ・Siシリーズ 主装置プログラム版数：1-1版～ 及び 本アプリケーションバージョン：2.0.00～

## 主な特長

**主装置経由の着信時にPush通知で発信元の内線番号や外線番号の情報を取得できます。**  
従来のHTTPS通信による番号の取得方法とは別に、主装置から送信された発信元の番号情報及びラインキー更新情報をPush通知でバナー/ダイアログに表示することが可能です。

※本機能は以下バージョンにて利用可能です。

- Siシリーズ 主装置プログラム版数：7-1版～ 及び 本アプリケーションバージョン：3.0.00～

**主装置のラインキー機能を利用して、発信及び着信・応答を行うことができます。**

主装置と本アプリケーションのラインキーに関わる設定を行うことにより、本機能を利用することができます。

※本機能は以下バージョンにて利用可能です。

- Siシリーズ 主装置プログラム版数：7-1版～ 及び 本アプリケーションバージョン：3.0.00～

**ラインキー更新通知の通知音を設定することができます。**

本アプリケーションの設定でラインキー更新通知時の通知音を変更することができます。

短音、15秒、30秒の通知音を選択することが可能です。

※本機能は以下バージョンにて利用可能です。

- Xシリーズ 主装置プログラム版数：1-1版～ 及び 本アプリケーションバージョン：4.0.00～

# 目次

主な特長 .....	1
目次 .....	3
1. 概要 .....	4
アプリケーション導入上のご注意 .....	4
動作確認済み機種一覧 .....	7
2. アプリケーションの起動 .....	8
アプリケーションの起動 .....	8
3. アプリケーションの設定 .....	9
主装置設定 .....	9
MA 選択発信設定 .....	10
ワンタッチ設定 .....	12
一般設定 .....	13
ペアリング設定 .....	16
パスワード設定 .....	18
インポート・エクスポート .....	20
プライバシーポリシー .....	23
Q&A .....	24
MA 選択発信設定、ワンタッチ設定のボタン位置変更 .....	25
4. 操作方法 .....	26
ワンタッチ（発信） .....	26
ワンタッチ（携帯ブラウザ連携） .....	28
ダイヤル .....	31
履歴 .....	34
連絡先 .....	38
着信時番号取得機能（HTTPS 通信） .....	41
着信時番号取得機能（Push 通知） .....	43
URL スキーム発信機能 .....	45
IPBT 電話機連携機能（電話番号転送からの主装置経由の発信） .....	48
IPBT 電話機連携機能（本アプリケーションからの携帯発信） .....	49
ラインキー機能（状態表示） .....	50
ラインキー機能（発信） .....	51
ラインキー機能（応答） .....	52

# 1. 概要

本アプリケーションは、iFシリーズ、Siシリーズ、Xシリーズのモバイルアシスト機能（以降MA、iFシリーズは【主装置プログラム版数：4-1版】より利用可能）を簡単な操作で利用いただくための支援アプリケーションです。

※本取扱説明書内において「Siシリーズ主装置プログラム版数：6-1版～」などの表記は後継の主装置シリーズ（「Xシリーズ主装置プログラム版数：1-1版」など）を含みます。

## アプリケーション導入上のご注意

- ①本アプリケーションは、カスタムROMやRoot化された端末、改造された端末では動作保証しておりません。
- ②本アプリケーションは、電話発信をする場合、標準電話アプリを利用します。標準電話アプリ以外のアプリケーションを利用している場合や、端末として機能を無効にしている場合は、正常に動作しない場合があります。
- ③本アプリケーションの連絡先には、スマートフォンで利用している連絡先が表示されます。標準インストールされている連絡先アプリケーション以外を標準アプリケーションとして利用している場合は、正常に動作しないことがあります。
- ④本アプリケーションを利用して電話発信をする場合は、携帯電話の通話料金が発生します。
- ⑤携帯ブラウザ連携機能を利用する場合は、データ通信及びパケット通信料が発生します。
- ⑥一度アプリケーションをインストールすると、アプリケーション専用フォルダが端末内に作成されます。アプリケーションを完全に削除する場合は、アプリケーション専用フォルダも削除してください。
- ⑦ご利用の端末によっては、MA発信やMA選択発信（発信時間短縮機能利用時は除く）を行った場合、主装置一次応答信号（ツツツ・・・）のあとに、特番や内線番号のブッシュ信号（PB信号）が聞こえる場合があります。
- ⑧携帯ブラウザ連携機能を利用する際はセキュリティを確保するため、「ワンタッチ（携帯ブラウザ連携）ご注意」欄に記載の手順を参考にルート証明書のインストールを必ず行ってください。
- ⑨端末側の「アプリの権限」の設定で本アプリケーションが利用する各権限を「許可（一部名称が異なる場合があります）」とする必要があります。各権限の状態を「許可しない」とした場合、本アプリケーションを正しく起動及び利用することができません。

本アプリケーションを新規でインストールする場合、各権限の状態は初期で「許可しない」となっていますので、必ず「許可」に変更のうえ（下記設定例は一例）、ご利用ください。権限の詳細については動作確認済み機種一覧をご覧ください。

※1.既に本アプリケーションがインストールされている状態から新しいバージョンのアプリケーションへ更新した際も、上記各権限の状態を必ず確認してからご利用ください。特に Ver.[1.1.01]以下のバージョンから Ver.[2.0.00]以上のバージョンに更新した際は、【位置情報】の状態を必ずご確認ください。

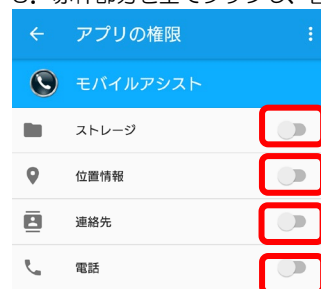
※2.本アプリケーションを起動中に各権限の状態を変更した場合は、各機能が正常に動作しない可能性があります。必ず本アプリケーションの再起動を行った後にご利用ください。

1. 端末の「設定」アプリを起動し、「アプリ」→「モバイルアシスト」の順でタップします。
2. 「権限」をタップします。

※端末によっては、「権限」の部分が「許可」と表示されます。



3. 赤枠部分を全てタップし、各権限の状態を変更します。



4. 各権限の状態が全て「許可」に変更されていることを確認します。



# 1. 概要

## アプリケーション導入上のご注意

- ⑩端末側で「データのバックアップ」及び「自動復元」の設定が有効になっている状態で本アプリケーションの再インストールを行った場合、設定データが復元される（再インストール後のアプリケーション起動時に以前のデータが設定されている）ことがあります。
- ⑪Ver.[2.0.00]より利用可能なIPBT電話機連携機能について、一部の機種においては、事前に端末の「位置情報」の設定を有効にした上でペアリング設定を行う必要があります。「位置情報」の設定が無効の場合は、ペアリング設定を正しく行うことができない可能性がありますので、事前に「位置情報」の設定をご確認ください。
- ⑫Ver.[2.1.00]より利用可能なAndroid7.0以上の機種においては、以下の制約事項があります。よくお読みになった上で本アプリケーションをご利用ください。
- 本アプリケーションをOSのマルチウィンドウ機能で利用することはできません（マルチウィンドウ機能の画面にて本アプリケーションを選択した場合、サポートしていない旨のメッセージが表示された後にフォアグラウンド状態で本アプリケーションのみが起動します）。
  - 端末の設定アプリで画面の表示サイズを「標準」以外に設定した場合、本アプリケーションのレイアウトが正常に表示されないことがあります。本アプリケーションをご利用の場合は、画面の表示サイズを「標準」に設定してください。
  - 端末の設定アプリで「データ使用」の設定からデータセーバーを「有効」にしている場合、着信時番号取得機能が正常に利用できないことがあります。着信時番号取得機能については、データセーバーを「無効」に設定または「データ通信を制限しないアプリ」で本アプリケーションを選択してご利用ください。
- ⑬URLスキーム発信機能以外で音声認識アプリケーション等の他のアプリケーションから本アプリケーションを起動できる場合がありますが、その場合の動作保証はしません。
- ⑭Ver.[2.2.00]より利用可能なAndroid8.0以上の機種においては、端末側で「アプリの通知」の設定が追加されています。通知の設定(有効/無効)及び通知のカテゴリ(発信者情報表示監視)の設定(有効/無効)などの設定によっては、本アプリケーションを起動中に、端末の通知バーに本アプリケーションが起動中であることを示すアイコンやメッセージが表示されますが、アプリケーションの動作には問題ありません。
- 通知の設定を無効の状態から有効の状態に変更した場合は、端末側で本アプリケーションの強制終了または端末の再起動を行い、再度本アプリケーションを起動した際、通知バーにアイコンやメッセージが表示されることがあります。
- ※1.通知バーの操作でメッセージをタップすると、本アプリケーションの画面が表示されます。
  - ※2.他のアプリケーションや端末側の設定によっては、本アプリケーションを含めた複数のアイコンやメッセージが通知バーに表示されることがあります。
  - ※3.通知バーのアイコンやメッセージを消去したい場合は、端末側で通知のカテゴリ(発信者情報表示監視)の設定を無効の状態にしてください。
- ⑮端末側で省電力機能(Dozeモード)が設定されている場合、本アプリケーションとIPBT電話機のBluetooth接続が切断されることがあります。Bluetooth接続が切断されないようにする場合、省電力機能(Dozeモード)から本アプリケーションを対象外としてください。
- ⑯本アプリケーションの履歴画面に表示する着信履歴について、「標準電話アプリで着信した履歴」は保存されません(本取扱説明書における「4. 操作方法-履歴」のページも併せてご覧ください)。標準電話アプリで着信した履歴の確認が必要な場合は、標準電話アプリ側の履歴をご確認ください。

# 1. 概要

## アプリケーション導入上のご注意

- ⑰Ver.[2.5.00]以上のバージョンを利用する際は、下記の点にご注意ください。
- ・「アプリケーション導入上のご注意」の⑨へ記載している端末の「アプリの権限」の設定について、既に本アプリケーションを正常に利用している場合でも、Ver.[2.4.00]以下のバージョンからVer.[2.5.00]以上のバージョンに更新した際は、エラーダイアログが表示されます（本アプリケーションバージョン：2.5.00～）。  
【位置情報】の権限を一度「許可しない」の状態に設定し、再度「許可（一部名称が異なることがあります）」の状態とすることで本アプリケーションを利用することができます。
  - ・端末の「アプリの権限」の設定と併せて「他のアプリの上に重ねて表示」の設定も「許可」の状態（一部名称が異なることがあります）とする必要があります（本アプリケーションバージョン：2.5.00～）。  
「許可しない」の状態とした場合はエラーダイアログが表示され、本アプリケーションを正しく起動及び利用することができません。
- ⑱Android10.0でジェスチャーナビゲーションが機能追加になりました。（OS機能）  
一部機種では、初期設定でジェスチャーナビゲーションになっているため「戻る」、「ホーム」、「アプリ履歴」ボタンが表示されません。（ボタン名称は機種によって異なります）  
従来の表示で利用したい場合には、「3ボタンナビゲーション」に設定してご利用ください。  
設定方法は、各機種の説明書をご確認ください。
- ⑲Android11以上の機種においては、標準電話アプリケーションの着信のヘッドアップが優先されて表示されるようになり、着信時番号取得のバナー表示が行えなくなりました。  
着信時番号取得のPush通知は受信できているため、ステータスバーを下にスワイプすることで内線番号や内線名称などを確認することが可能です。

1. 着信中にステータスバーを下方向にスワイプします。



2. 着信番号が表示されます。



- ⑳Googleの自動入力サービスを利用している場合、本アプリケーションが正常に利用できない場合があります。  
端末の「Google自動入力を使用する」を無効にしてご利用ください。
- ㉑Xシリーズ主装置で利用する場合は「本アプリケーションバージョン：4.0.00～」が必要となります。
- ㉒「Xシリーズ主装置プログラム版数：2-1版～」をご利用の場合は主装置設定のサーバ証明書自動更新機能を使用することで導入時の証明書インストールの操作が不要となります。詳細は、販売店にご確認ください。



# 1. 概要

## 動作確認済み機種一覧

- 本アプリケーションの動作確認済み機種は、サポートページをご参照ください。

モバイルアシスタアプリケーション® サポートページ

<https://www.hoshunet.jp/fsc/qa/MA/maap.html>

※1：端末のOS自動バージョンアップは行わないでください。

※2：Android10.0以上の端末において、端末側の画面表示に関する設定で「ダークテーマ」の設定を有効にしている場合でも、本アプリケーションは無効の場合と同様の画面表示及び動作となります。ただし、端末側で表示する画面等については、端末側の画面表示及び動作に依存します。

## 2. アプリケーションの起動

### アプリケーションの起動

アプリケーションを起動します。

1

アプリケーションアイコン  
をタップする。



2

アプリケーションの起動  
画面が表示される。



3

基本スクリーンが表示さ  
れる。



#### 【補足説明】

- 基本スクリーンは、設定で変更することができます。
- パスワードを設定している場合は、基本スクリーンが表示される前にパスワード入力画面が表示されます。パスワード入力後に「OK」ボタンをタップすると、基本スクリーンが表示されます。




- 端末側の「アプリの通知」設定について通知の設定(有効/無効)及び通知のカテゴリ(発信者情報表示監視)の設定(有効/無効)など設定によっては、本アプリケーションを起動中に、端末の通知バーに本アプリケーションが起動中であることを示すアイコンやメッセージが表示されますが、アプリケーションの動作には問題ありません。

# 3. アプリケーションの設定

## 主装置設定

本アプリケーションをMAで利用するための設定を行います。

- 1 本アプリケーションの  
設定アイコン   
をタップする。



- 2 設定画面が表示される  
ので、「主装置設定」  
をタップする。



- 3 各項目を設定する。




### 【設定項目の説明】

主装置電話番号	MAで利用する主装置の電話番号を設定します。 (最大16桁)
ポーズ時間	主装置一次応答後に追加ダイヤルをPB送出するまでの時間を設定します。(初期値：3秒)
主装置MACアドレス	携帯ブラウザ連携機能を利用する場合、主装置のMACアドレスを設定します。(12桁)
主装置容量	利用する主装置のシリーズ、容量を設定します。 (初期値：Xi/S)
httpsポート番号	主装置と通信するためのポート番号を設定します。 (初期値：50010)

### 【補足説明】

- ご利用の環境により、ポーズ時間を変更してください。ポーズ時間が短いと主装置がPB受信できない場合があります。
- ポーズ時間は、主装置応答後にPB送出するまでの時間です。端末の機種により、ポーズ時間が異なる場合があります。
- httpsポート番号を変更する場合は、主装置の設定変更が必要です。

- 4 設定が終わったら  
 をタップし、  
設定画面にもどる。



## 3. アプリケーションの設定

### MA選択発信設定

MA選択発信設定に、主装置の外線自動発信グループやボタン指定捕捉特番を事前に登録することで、相手先に通知する発信者番号を選択することができます。

1

設定画面で  
「MA選択発信設定」  
をタップする。



2

MA選択発信設定画面が  
表示される。

「MA選択発信方法」を  
タップすると、設定画面  
が表示されるので、  
「PB送出」または  
「データ送信」を設定  
する。

設定後に「OK」を  
タップする。

※設定を保存せずに、  
前の画面に戻る場合は、  
「キャンセル」をタップする。

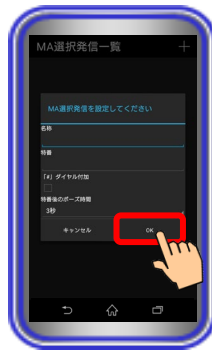


#### 【補足説明】

- 初期値は「PB送出」が設定されています。  
「Siシリーズ主装置プログラム版数：6-1版～」及び「本アプリケーションバージョン：2.4.00～」において、インターネット経由の発信時間短縮機能を利用する場合は、「データ送信」を設定してください。  
「データ送信」が設定されている場合、本アプリケーションの「主装置設定-主装置容量」においては、Siシリーズの「Si/S」、「Si/LA」、「Si/LB」及びXシリーズの「Xi/S」、「Xi/LA」、「Xi/LB」のいずれかのみ設定可能な状態となります。
- 本アプリケーションの「主装置設定-主装置容量」でiFシリーズの「iF/S」または「iF/M」が設定されている場合、MA選択発信設定画面が表示されないため、本手順の操作は不要です。
- 本手順で「データ送信」を設定する場合は、本アプリケーションの「パスワード設定」において、「携帯ブラウザ接続ID」と「携帯ブラウザ接続パスワード」も併せて設定してください。  
※「データ送信」が設定されている場合でも、上記の「パスワード設定」が正しく行われていない場合や、本アプリケーションの「主装置設定」において、「主装置MACアドレス」が登録されていない場合は、発信時間短縮機能を利用することができません。

## 3

「MA選択発信一覧」をタップすると、MA選択発信一覧画面が表示される。画面の **+** をタップすると、登録画面が表示されるので、各項目を設定する。設定後に「OK」をタップする。  
 ※設定を保存せずに、前の画面に戻る場合は、「キャンセル」をタップする。



## 【設定項目の説明】

名称	MA選択発信時に表示する名称を設定します。(最大12文字)
特番	外線自動発信グループやボタン指定捕捉特番を設定します。(最大7桁)
「#」ダイヤル付加	追加ダイヤルの最後に#付加するかを設定します。(し点が入ると「ON」になります。)
特番後のポーズ時間	特番ダイヤルで外線捕捉後に追加ダイヤルを送出するまでの時間を設定します。(初期値：3秒)

## 【補足説明】



- リストは最大で10件まで登録できます。
- 実際の発信では、下記のダイヤルを本アプリケーションで自動作成します(※)。利用する回線やGWの状況により適宜設定を追加してください。ダイヤル例：  
 (主装置電話番号) + P + (特番) + P + 追加ダイヤル(相手先番号) + #  
ポーズ(\*1)      ポーズ(\*2)  
 \*1：主装置設定のポーズ時間、\*2：MA選択発信設定の特番後のポーズ時間  
 ※手順2で「MA選択発信方法を「PB送出」に設定している場合のみの動作となります  
 (本アプリケーションバージョン：2.4.00~)。  
 「データ送信」に設定している場合、「#」ダイヤル付加」及び「特番後のポーズ時間」の設定は不要です。
- 特番には#や\* (いずれか1桁のみ) も設定可能(※)ですが、先頭には設定しないでください。  
 特番に#か\*を設定する場合、「#」ダイヤル付加の項目は「付加しない」に設定してください。  
 ※主装置側のデータ設定に合わせてください  
 (Siシリーズ、Xシリーズの場合)。
- 本アプリケーションの「主装置設定-主装置容量」でiFシリーズの「iF/S」または「iF/M」が設定されている場合、手順1の操作後にMA選択発信一覧画面が表示されます。

## 4

MA選択発信一覧画面に設定内容が追加される。  
 ※前の画面に戻る場合は、**←** をタップする。



## 【補足説明】

- 設定内容を編集する場合は、編集したい項目→画面右上の  の順でタップしてください。
- 設定内容を削除する場合は、削除したい項目→画面右上の  の順でタップしてください。



(詳細画面表示例)

# 3. アプリケーションの設定

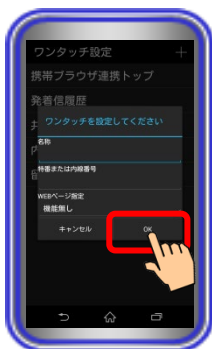
## ワンタッチ設定

ワンタッチボタンに内線番号や特番、携帯 WEB の接続ページを設定します。

1 設定画面で「ワンタッチ設定」をタップする。



2 ワンタッチ設定画面の「+」をタップすると、ワンタッチ設定の登録画面が表示されるので、各項目を設定する。設定後に「OK」をタップする。  
※設定を保存せずに、前の画面に戻る場合は、「キャンセル」をタップする。



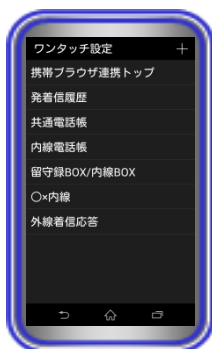
### 【設定項目の説明】

名称	ワンタッチ画面に表示する名称を設定します。(最大12文字)
特番または内線番号	特番または内線番号を設定します。(最大16桁)
WEB ページ指定	携帯ブラウザ連携機能で利用するWEBページを設定します(スピナーで項目を指定)。 ※1.特番または内線番号と同時設定することはできません。 ※2.スピナーで項目を指定時に一部の設定項目が表示されないことがあります。ただし、「名称」や「特番または内線番号」をタップしてキーボード画面を表示した場合は正常に動作します。



### 【補足説明】

- リストは最大で24件まで登録できます。
- 指定できるWEB ページは以下のとおり。
  - ①携帯ブラウザ連携トップ：主装置のリモート MENU(トップページ)を指定します。
  - ②発着信履歴：主装置の発着信履歴ページを指定します。
  - ③共通電話帳：主装置の共通電話帳検索ページを指定します。
  - ④内線電話帳：主装置の内線電話帳検索ページを指定します。
  - ⑤留守録 BOX/内線 BOX：主装置の留守録 BOX/内線 BOX 再生ページを指定します。

3 ワンタッチ設定画面に設定内容が追加される。  
※設定画面に戻る場合は、「<」をタップする。



### 【補足説明】

- 設定内容を編集する場合は、編集したい項目→画面右上の  の順でタップしてください。
- 設定内容を削除する場合は、削除したい項目→画面右上の  の順でタップしてください。



(詳細画面表示例)

## ご注意

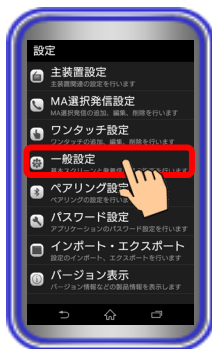
- ワンタッチボタンに設定可能な特番の桁数は16桁ですが、利用する端末の標準電話アプリケーションの仕様により、全てのダイヤルを受け付けない場合があります。

# 3. アプリケーションの設定

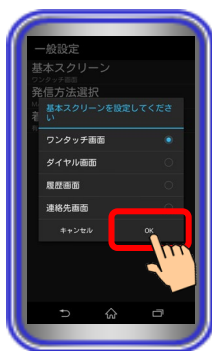
## 一般設定

アプリケーション起動時の表示画面や発信方法、着信時番号取得の有無【本アプリケーションバージョン：1.1.00～】を設定します。

1 設定画面で「一般設定」をタップする。



2 基本スクリーンをタップすると、起動時に表示する画面のダイアログが表示されるので、アプリケーション起動時に表示する画面を選択し、「OK」をタップする。  
※前の画面に戻る場合は、「キャンセル」をタップする。



### 【補足説明】

・アプリケーションを起動した場合に、最初に表示する画面です。

3 発信方法を選択する。ワンタッチ画面や、ダイヤル画面等で電話発信する際に表示する項目にし点を入れて「OK」をタップする。  
※前の画面に戻る場合は、「キャンセル」をタップする。



### 【補足説明】

- ・MA発信の場合、主装置電話番号発信後にPBで内線番号や特番を利用して発信をします。
- ・MA選択発信の場合、主装置電話番号発信後にPBでMA選択発信設定で設定した特番と追加ダイヤルを利用して電話発信することができます。  
※インターネット経由の発信時間短縮機能を利用したMA選択発信をすることもできます（「Siシリーズ主装置プログラム版数：6-1版～」及び「本アプリケーションバージョン：2.4.00～」）。
- ・携帯発信の場合、携帯電話の番号でそのまま発信をします。  
**主装置経由の発信にはなりません。**  
※本アプリケーションをモバイルアシスト専用で利用する場合、「一般設定」-「発信方法選択」で、携帯発信のし点を外して設定してください。
- ・IPBT 転送の場合、ダイヤルした番号を IPBT 電話機に転送して発信することができます。
- ・ラインキー発信の場合、主装置で割り当てられたラインキーのボタンを使用して発信することができます（「Siシリーズ主装置プログラム版数：7-1版～」及び「本アプリケーションバージョン：3.0.00～」）。

4

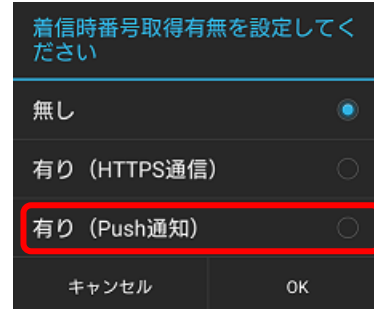
着信時番号取得の有無を設定する。MA着信時に主装置から発信元の番号情報を取得する場合は、該当する設定を選択し、「OK」をタップする。

※前の画面に戻る場合は、「キャンセル」をタップする。



#### 【補足説明】

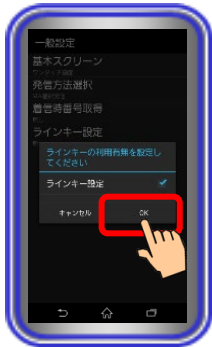
- 本設定を「有り」にする場合は、「パスワード設定」のページに記載の「携帯ブラウザ接続 ID」と「携帯ブラウザ接続パスワード」も併せて設定してください。
  - ※本設定が「有り」の場合でも上記設定が正しく行われていない場合や主装置 MAC アドレスが登録されていない場合は、着信時番号取得機能を利用することができません。
  - ※「本アプリケーションバージョン：3.0.00～」及び「Si シリーズ主装置プログラム版数：7-1 版～」を利用している場合は、下図のように「Push 通知」で発信元の番号情報を取得することもできます。
- 着信時番号取得有無の設定値を変更する場合は、「主装置 MAC アドレス」「主装置容量」「https ポート番号」「携帯ブラウザ接続 ID」「携帯ブラウザ接続パスワード」が設定済みでなければ変更することができませんので、必ず設定をしてください。



5

ラインキーの利用有無を設定する。ラインキーを利用する場合は、レ点を入れて「OK」をタップする。

※前の画面に戻る場合は、「キャンセル」をタップする。



#### 【補足説明】

- ラインキー設定は「本アプリケーションバージョン：3.0.00～」及び「Si シリーズ主装置プログラム版数：7-1 版～」に対応しています。iF シリーズではご利用できません。
- ラインキー設定を変更する場合は、「主装置 MAC アドレス」「主装置容量」「https ポート番号」「携帯ブラウザ接続 ID」「携帯ブラウザ接続パスワード」が設定済みでなければ変更することができませんので、必ず設定をしてください。また、ラインキーを使用するには主装置側のプッシュ通知及びラインキー関連のデータ設定も必要になります。

6

ラインキー名称を変更する。ラインキーを選択し、名称を入力後、「OK」をタップする。

※前の画面に戻る場合は、「キャンセル」をタップする。



#### 【補足説明】

- ラインキー名称の変更は「本アプリケーションバージョン：3.0.00～」でご利用できます。また主装置容量を Si シリーズもしくは X シリーズのいずれかにしている場合のみ利用可能です。iF シリーズではご利用できません。
- ラインキーには本名称設定の文字列が最優先で表示されます。
- ラインキー 1～16 の名称設定ができます。
- 最大全角 8 文字 / 半角 16 文字までの「かな/カナ/漢字/英数字/記号」の入力ができます。
- ※絵文字入力も可能ですが、1 文字で複数文字として扱う場合があります。
- 入力したラインキーの名称が 1 行で表示しきれない場合は 2 行で表示されます。



7

ラインキー更新通知の通知音を変更する。設定したい通知音を選択し、「OK」をタップする。  
※前の画面に戻る場合は、「キャンセル」をタップする。



#### 【補足説明】

- ラインキー通知音の変更は「本アプリケーションバージョン：4.0.00～」及び「Xシリーズ主装置プログラム版数：1-1版～」に対応しています。
- 通知音は、短音（デフォルト設定）、15秒音源（3種類）、30秒音源（3種類）から選択することができます。
- ラインキー更新通知のバナー表示中に他のアプリのPush通知を受信した場合、双方の通知音がミキシングされる場合があります（OS動作）。
- 他アプリのPush通知の通知音が停止した場合、ラインキー通知音も停止する場合があります（OS動作）。
- 本設定を行う前に「主装置MACアドレス」「主装置容量」「httpsポート番号」「携帯ブラウザ接続ID」「携帯ブラウザ接続パスワード」を設定し、ラインキー設定を有効にしてください。これらの設定が正しくできていない場合は本設定の変更ができません。

# 3. アプリケーションの設定

## ペアリング設定

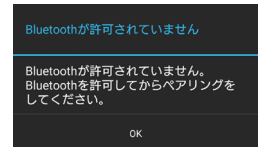
IPBT電話機連携機能利用時に、本アプリケーションとペアリングするIPBT電話機を設定します。  
※本設定は「Siシリーズ主装置プログラム版数：1-1版～」及び「本アプリケーションバージョン：2.0.00～」にて利用可能

1 設定画面で「ペアリング設定」をタップする。



### 【補足説明】

- 端末の「Bluetooth」設定を必ず有効にしてから、本設定を行ってください。  
端末の「Bluetooth」設定が無効の状態では「ペアリング設定」をタップした場合、右記のダイアログが表示されます。  
「OK」ボタンをタップしてダイアログを閉じ、端末の「Bluetooth」設定を有効にしてから再度「ペアリング設定」をタップしてください。



2 デバイス検索画面が表示されるので、「開始」をタップする。



3 接続可能なIPBT電話機のデバイス名と電波強度が表示されるので、ペアリングするIPBT電話機のリストをタップする。  
※デバイス検索を停止する場合は、「停止」をタップする。



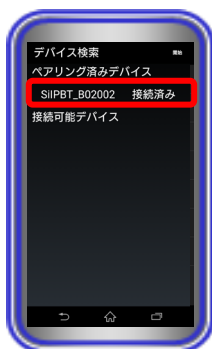
### 【補足説明】

- 「接続可能デバイス」にIPBT電話機以外のBluetooth機器は表示されません。
- 「接続可能デバイス」にペアリングするIPBT電話機が表示されないことがあります。この場合は、再度「開始」をタップしてデバイス検索を行ってください。  
再度デバイス検索を行ってもペアリングするIPBT電話機が表示されない場合は、本アプリケーションまたはIPBT電話機の再起動を行ってください。
- OS側の制約により、デバイス検索を繰り返し行くと、正常にIPBT電話機が表示されないことがあります。この場合は、30秒以上間隔を空けてから再度デバイス検索を行ってください。

4 「ペアリングが完了しました。」のダイアログが表示されたら、「OK」をタップする。



5 ペアリング済みデバイスにペアリングした IPBT 電話機のデバイス名と「接続済み」が表示されていることを確認する。

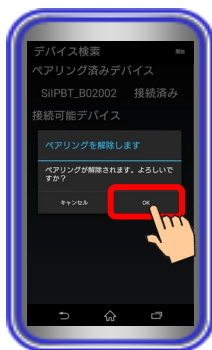


【補足説明】

- ペアリング可能な IPBT 電話機は 1 台のみです。複数の IPBT 電話機とペアリングすることはできません。左記のようにペアリング済みデバイスに IPBT 電話機のデバイス名が表示されている状態では、「開始」のタップは無効となります。
- ペアリング済みデバイスに IPBT 電話機のデバイス名が「未接続」の状態が表示されている際、IPBT 電話機とペアリングできる状態である場合にリストのタップで再度ペアリングすることが可能です。 ※タップから数秒後に「接続済み」が表示されます。

6 操作5のような状態からペアリングを解除する場合はリストをロングタップすると、確認のダイアログが表示されるので、「OK」をタップする。

※前の画面に戻る場合は、「キャンセル」をタップする。



7 IPBT 電話機のペアリングが解除されていることを確認する。



## 3. アプリケーションの設定

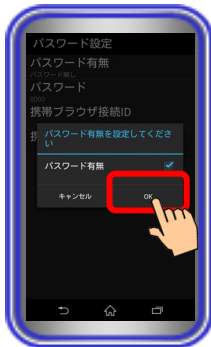
### パスワード設定

アプリケーション起動時のパスワードや携帯ブラウザ接続時に必要なID・パスワードを設定します。

- 1 設定画面で  
「パスワード設定」  
をタップする。



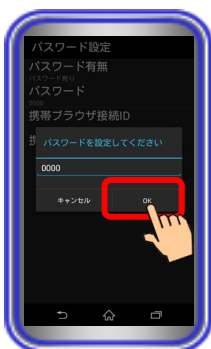
- 2 パスワード有無をタップし、パスワード画面を表示する場合は、レ点を入れて「OK」をタップする。  
※前の画面に戻る場合は、「キャンセル」をタップする。



#### 【補足説明】

- パスワードを変更しなかった場合、初期値「0000」でロックされます。

- 3 パスワードをタップし、パスワードを設定して「OK」をタップする。  
※前の画面に戻る場合は、「キャンセル」をタップする。  
※パスワードは、半角数字4桁で設定する。



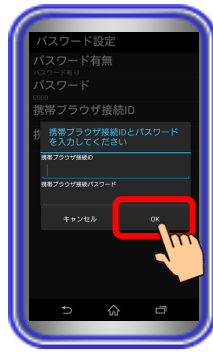
## 4

「携帯ブラウザ接続ID」または「携帯ブラウザ接続パスワード」をタップし、ID 及びパスワードを入力して「OK」をタップする。

※前の画面に戻る場合は、「キャンセル」をタップする。

※ID は、半角英数字 0~16 桁で入力する（記号入力不可）。

※パスワードは、半角英数字 0 桁または 4~16 桁で入力する（記号入力不可）。



## 【補足説明】

- 本設定を行う前に「主装置 MAC アドレス」「主装置容量」「https ポート番号」を設定する必要があります。未設定の場合はエラーダイアログが表示されますので必ず設定してください。
- 本設定を行うことで、携帯ブラウザ接続時に必要な ID 及びパスワードを本アプリケーション内に保存することができます。
- 以下機能を利用する場合は、本設定を必ず行ってください。

機能	本アプリバージョン
着信時取得番号機能 (HTTPS通信)	1.1.00~
着信時取得番号機能 (Push通知)	3.0.00~
MA 選択発信でインターネット経由の発信時間短縮機能を利用	2.4.00~
ラインキー機能	3.0.00~
ラインキー通知音	4.0.00~

- 本設定を0桁に設定した場合、携帯ブラウザ接続時に手動でID及びパスワードを入力する必要があります。

## ご注意

- パスワードを忘れた場合、アプリケーションを再インストールする必要があります。再インストールした場合、設定データは初期に戻ります。事前にエクスポートした設定データがある場合には、再インストール後にエクスポートファイルをインポートしてください。ただし、パスワード設定の全ての設定データはインポート・エクスポートの対象外となりますので、再度設定を行ってください。

# 3. アプリケーションの設定

## インポート・エクスポート

1. 設定ファイルをエクスポートすることができます。

1

設定画面で  
「インポート・エクスポート」  
をタップする。



2

エクスポートをタップ  
すると、ファイル名が表  
示されるので、「OK」を  
タップする。  
※前の画面に戻る場合は、  
「キャンセル」をタップする。

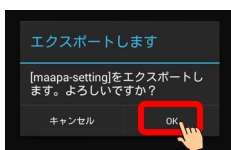


### 【補足説明】

- 保存先は、  
「/Android/data/jp.co.nyc.mobileassist/files/setting/」内  
（本アプリケーションバージョン：2.5.00～）の指定ファイル  
名となります。
- ファイル名は変更することもできます。ファイル名を変更する場  
合、表示されているファイル名をタップし、文字を削除した後  
に指定するファイル名を 1～16 文字の範囲で入力してください。  
※半角英数字及び記号以外入力不可

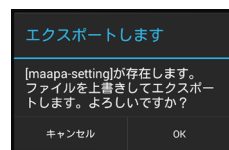
3

「エクスポートします」  
が表示されるので、  
「OK」をタップする。  
※前の画面に戻る場合は、  
「キャンセル」をタップする。



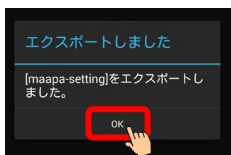
### 【補足説明】

- 同一のファイル名がある場合には右  
記の画面が表示されます。



4

「エクスポートしまし  
た」が表示されるので、  
「OK」をタップする。



## ご注意

- エクスポートしたデータはPCのメモ帳等で編集可能ですが、データが変更された場合、正常にインポートできないことがあります。
- ペアリング設定及びパスワード設定の全ての設定データと履歴のデータはエクスポートの対象外となります。
- 本アプリケーションのアンインストール時、「/Android/data/jp.co.nyc.mobileassist/files/setting/」内のファイルは削除されます（本アプリケーションバージョン：2.5.00～）。

# 3. アプリケーションの設定

## インポート・エクスポート

2. 設定ファイルをインポートすることができます。

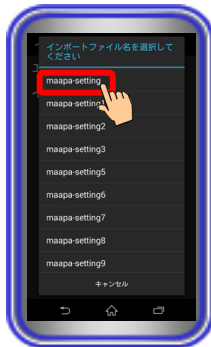
1

設定画面で  
「インポート・エクスポート」  
をタップする。



2

インポートをタップすると、インポート可能なファイルがリストに表示されるので、インポートするファイル名をタップする。  
※前の画面に戻る場合は、「キャンセル」をタップする。

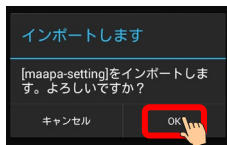


### 【補足説明】

- 読み込み先は、「/Android/data/jp.co.nyc.mobileassist/files/setting/」内（本アプリケーションバージョン：2.5.00～）の指定ファイル名となります。
- インポート可能なファイルが全てリストに表示されます。

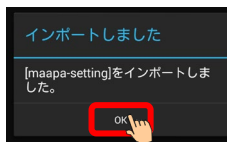
3

「インポートします」が表示されるので、「OK」をタップする。  
※前の画面に戻る場合は、「キャンセル」をタップする。



4

「インポートしました」が表示されるので、「OK」をタップする。



## ご注意

- 「インポートできませんでした」が表示された場合は、ファイル及びファイル名を確認して再度インポートを実行してください。
- 「[ファイル名]をインポートしました。一部の項目はインポートできませんでした。」のダイアログが表示された場合は、全ての設定データがインポートできていない可能性がありますので、設定データのご確認をお願いします。
- エクスポートしたデータはPCのメモ帳等で編集可能ですが、データが変更された場合、正常にインポートできないことがあります。
- ペアリング設定及びパスワード設定の全ての設定データと履歴のデータはインポートの対象外となります。
- 本アプリケーションのアンインストール時、「/Android/data/jp.co.nyc.mobileassist/files/setting/」内のファイルは削除されます（本アプリケーションバージョン：2.5.00～）。
- Ver.[2.4.00]以下のバージョンでエクスポートしていたファイルを Ver.[2.5.00]以上のバージョンでインポートする場合、事前に「/mobileassist/setting/」内から「/Android/data/jp.co.nyc.mobileassist/files/setting/」内へファイルを手動で移動しておく必要があります（本アプリケーションバージョン：2.5.00～）。

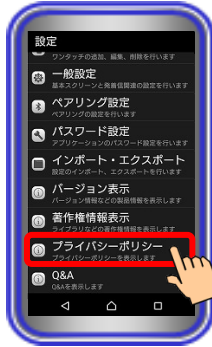


## 3. アプリケーションの設定

### プライバシーポリシー

開発元のプライバシーポリシーが掲載されたWebページを表示します。  
【本アプリケーションバージョン：2.1.00～】

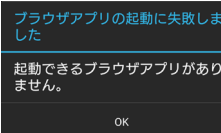
- 1 設定画面で「プライバシーポリシー」をタップする。



- 2 端末にインストールされているブラウザアプリが起動し、プライバシーポリシーが掲載されたWebページの画面へ表示が切り替わる。

#### 【補足説明】

- ネットワーク環境・Webページのリンク先の状況等が不安定である場合、画面が切り替わらないことがあります。
  - 端末にブラウザアプリが複数インストールされている場合は、「プライバシーポリシー」をタップ後に起動するブラウザアプリを選択する必要があります。
- また、起動できるブラウザアプリが無い場合は、下記のエラーダイアログが表示され、Webページの画面を表示することができません。



## 3. アプリケーションの設定

### Q&A

本アプリケーションに関するQ&Aが掲載されたWebページを表示します。  
【本アプリケーションバージョン：2.1.00～】

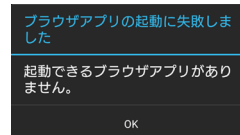
- 1 設定画面で「Q&A」を  
タップする。



- 2 端末にインストールされているブラウザ  
アプリが起動し、Q&Aが掲載されたWebペ  
ージの画面へ表示が切り替わる。

#### 【補足説明】

- ネットワーク環境・Webページのリンク先の状況等が不安定である場合、画面が切り替わらないことがあります。
  - 端末にブラウザアプリが複数インストールされている場合は、「Q&A」をタップ後に起動するブラウザアプリを選択する必要があります。
- また、起動できるブラウザアプリが無い場合は、下記のエラーダイアログが表示され、Webページの画面を表示することができません。



- Webページへ掲載されているQ&Aは、pdf形式のファイルとなっています。Webページからダウンロード後にファイルを開覧できない場合は、pdf形式のファイル閲覧を行うためのアプリケーションを別途インストールしてください。

# 3. アプリケーションの設定

## MA選択発信設定、ワンタッチ設定のボタン位置変更

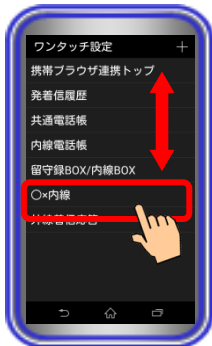
MA選択発信設定（MA選択発信一覧画面）及びワンタッチ設定は、ボタンの位置を自由に移動することができます。

※下記は、ワンタッチ設定の例になります。

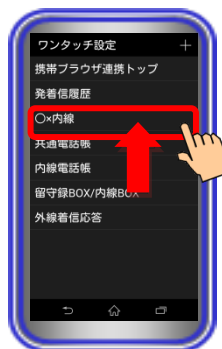
- 1 設定画面で  
「ワンタッチ設定」  
をタップする。



- 2 ワンタッチ設定  
画面で移動したい項目  
をロングタップする。  
ボタンが浮き上がる。  
※設定画面に戻る場合は、  
⏪ をタップする。



- 3 移動したい場所まで  
スライドさせ、指を  
画面上から離す。  
※設定画面に戻る場合は、  
⏪ をタップする。



## 4. 操作方法

### ワンタッチ（発信）

内線番号や特番を設定しているワンタッチボタンをタップすることで、ワンタッチ発信することができます。

1

内線番号や特番が設定されたワンタッチボタンをタップする。



2

発信方法の選択ダイアログが表示されるので、発信方法を選択する。

※「キャンセル」をタップすると、ワンタッチ画面に戻る。

※発信方法を複数設定していない場合は、本手順のダイアログが表示されずに手順3の動作となる

(ただし、MA選択発信設定時及び携帯発信設定時に発信相手の特番または内線番号/電話番号が3桁以下の場合を除く。

詳細は、右記の補足説明欄をご覧ください。)



#### 【補足説明】

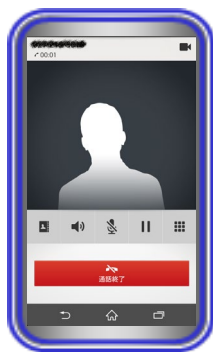
- MA発信 : 主装置の内線番号や特番を利用する場合は、MA発信を選択して発信します。
- MA選択発信 : 特番の後に追加ダイヤルが必要な発信の場合(外線番号指定や外線自動発信グループを選択後)は、MA選択発信を選択して発信します。  
※「MA選択発信」選択後に「MA選択発信を選択してください」のダイアログを表示します。そのままMA選択発信する場合は、表示されるMA選択発信設定の登録リストから発信に使用する設定データをタップしてください。
- 携帯発信 : 携帯からそのまま発信します。  
**主装置経由の発信にはなりません。**  
※発信相手の特番または内線番号/電話番号が3桁以下の場合、「携帯発信」選択後に「携帯発信します」の確認ダイアログを表示します。そのまま携帯発信する場合は、「OK」をタップしてください。
- IPBT転送 : 詳細は「IPBT電話機連携機能（電話番号転送からの主装置経由の発信）」のページをご覧ください。
- ラインキー発信 : 詳細は「ラインキー機能(発信)」のページをご覧ください。
- MA選択発信について、インターネット経由の発信時間短縮機能利用により、発信時間の短縮を行うことが可能です(「Siシリーズ主装置プログラム版数：6-1版～」及び「本アプリケーションバージョン：2.4.00～」)。その場合、MA選択発信設定の登録リストから設定データをタップ後に下記のようなダイアログが表示され、主装置へのダイヤルデータ送信後に手順3の動作となります。



インターネットを経由する関係上、以下のような場合は、発信時間短縮機能を利用することができません。

- ①インターネットに接続できない場合
- ②端末ヘルド証明書をインストールしていない場合
- ③携帯ブラウザ連携機能の利用に必要な設定を正しく行っていない場合

### 3 標準電話アプリが 自動で起動し、 発信する。



#### 【補足説明】

- 標準電話アプリの発信先の電話番号は、「主装置設定」の「主装置電話番号」で設定した電話番号になります。
- MA発信またはMA選択発信（発信時間短縮機能利用時は除く）の場合、相手応答後に「主装置設定」の「ポーズ時間」で設定した時間の待ち合わせをしてから特番送出します。

### 4 通話が終了したら標準電話アプリの 「通話終了」ボタンをタップする。

## ご注意

- 端末ヘルト証明書をインストールしていない場合、MA選択発信時に発信時間短縮機能を利用することができません。発信時間短縮機能を利用する場合は、事前にルート証明書を必ずインストールの上、関連する設定及び操作を行ってください。
- 手順2でMA選択発信の発信時間短縮機能利用時、主装置へのダイヤルデータ送信に失敗した場合は、下記のようなダイアログが表示されます。

#### MA選択発信できません

MA選択発信情報の送信に失敗しました。設定が正しく設定されているか、SSL証明書がインストールされていることを確認してください。  
エラーコード=[401]

OK

その場合の対処については、ダイアログ内に記載のエラーコードの内容（上記は一例）をご確認の上、主装置側の取扱説明書に記載の「携帯電話のブラウザを利用してリモート操作を行う」の内容をご覧ください。販売店にご確認ください。

## 4. 操作方法

### ワンタッチ（携帯ブラウザ連携）

携帯ブラウザ連携用の WEB ページを指定しているワンタッチボタンをタップすることで、主装置 WEB に接続することができます。

1

携帯ブラウザ連携用の「WEB ページ指定」を設定したワンタッチボタンをタップする。

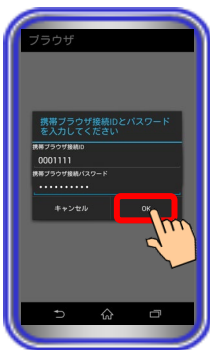


#### 【補足説明】

- ワンタッチボタンには、携帯ブラウザ連携用のボタンを初期設定してあります（「携帯ブラウザ連携トップ」、「発着信履歴」、「共通電話帳」、「内線電話帳」、「留守録BOX／内線BOX」の各ボタン）。必要が無い場合は、「設定」-「ワンタッチ設定」で各ボタンを削除してください。

2

本アプリケーション内のブラウザが起動するので、携帯ブラウザ接続 ID とパスワードを入力して「OK」をタップする。

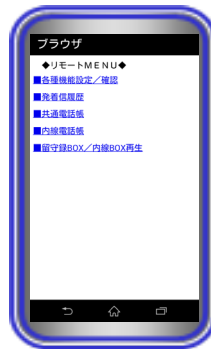


#### 【補足説明】



- 携帯ブラウザ接続時の ID とパスワードは、あらかじめ本アプリケーション内に保存しておくことで、入力を省略することができます。  
※ワンタッチボタンを押すと、ID とパスワードが入力された状態のダイアログが表示されます。
- 本手順において、手動で携帯ブラウザ接続時の ID とパスワードを入力した場合、本アプリケーション内に ID とパスワードは保存されません。

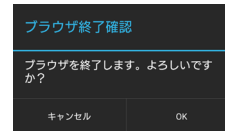
## ブラウザ画面が表示される。


※以降の操作は、携帯ブラウザ連携機能と同様。



### 【補足説明】

- ブラウザ画面に表示されている「戻る」ボタンを押した場合、一つ前の画面が表示されます。
- ブラウザ画面で端末の  ボタンを押した場合、ホーム画面に戻ります。再度本アプリケーションを起動した場合、ブラウザ画面の表示は終了し、ワンタッチ画面が表示されます。
- ブラウザ画面で端末の  ボタンを押した場合、「ブラウザ終了確認」のダイアログが表示されます。



「キャンセル」または  ボタンをタップしてダイアログを閉じると、ブラウザ画面が継続して表示されます。

「OK」をタップすると、ダイアログ及びブラウザ画面が閉じ、ワンタッチ画面に戻ります

(本アプリケーションバージョン：2.1.00～)。

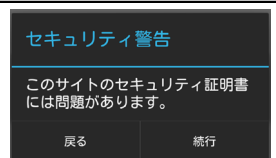
- ブラウザ画面にアドレスバーは表示されません (URL の直接入力はできません)。
- ブラウザ画面の表示後、主装置の共通電話帳や外線関連の各種履歴画面から端末の標準電話アプリを使用した直接発信を行う場合、発信する電話番号をタップ後に即時発信の動作となります (本アプリケーションバージョン：2.0.00～)。

※Siシリーズ主装置プログラム版数：1-1版～

その際、タップした電話番号が 3 桁以下の場合、携帯発信時と同様に「携帯発信します」の確認ダイアログを表示します。そのまま発信する場合は、「OK」をタップしてください。

## ご注意

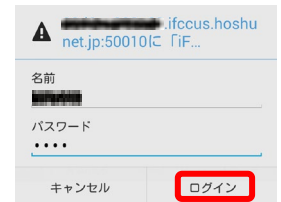
- 携帯ブラウザ連携機能を利用する際、セキュリティの関係上、事前に端末ヘルド証明書（インストールが必要となります）のインストールが必要となります（Xシリーズ主装置「プログラム版数：2-1版～」のサーバ証明書自動更新機能を使用する場合は証明書のインストール操作不要）。ルート証明書をインストールしていない場合は、ワンタッチボタンのタップ後に右記のような画面が表示されますので、以下の手順（画面は主装置がFシリーズの場合の一例です）を参考に必ずルート証明書のインストールを行ってください。



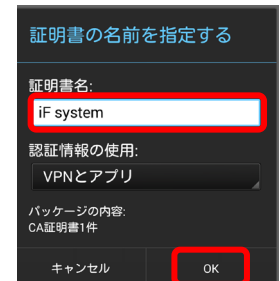
- ※ 右記のような画面で「続行」をタップした場合は、手順②の画面が表示されますが、セキュリティを確保するためにルート証明書のインストールを行ってください。

- ① 端末の標準ブラウザ等で、  
主装置がFシリーズの場合は  
URL「https://主装置MACアドレス.主装置容量(ifccus/ifccum).hoshunet.jp:50010/m/ca/cert.der」へ、  
主装置がSiシリーズの場合は  
URL「https://主装置MACアドレス.主装置容量(siccus/siccula/sicculb).hoshunet.jp:50010/m/ca/cert.der」へ、  
主装置がXシリーズの場合は  
URL「https://主装置MACアドレス.主装置容量(xiccus/xiccula/xicculb).hoshunet.jp:50010/m/ca/cert.der」へアクセスします。  
※1：「50010」は主装置のhttpsポート番号の初期値となります。販売店にご確認のうえ、httpsポート番号が初期値から変更されている場合は、変更後の値にしてください。  
※2：アクセス後にセキュリティ警告の画面が表示された場合は、一時的に「続行」をタップしてください。

- ② 右記のような認証画面（端末やOSによっては表示が異なることがあります）が表示された場合、主装置のWeb設定用の工事者アカウント（ユーザ名及びパスワード）を入力し、「ログイン」をタップします。  
※ 主装置のWeb設定用の工事者アカウント（ユーザ名及びパスワード）の初期値は、「ユーザ名:admin、パスワード:初期設定なし(文字を入力しない状態)」となります。  
販売店にご確認のうえ、工事者アカウントが初期値から変更されている場合は、変更後の設定値を正しく入力してください。



- ③ AndroidのOSによって下記の操作を行います。
  - Android4.4～10の場合  
証明書を指定する画面の表示後、「証明書名:」欄に、  
主装置がFシリーズの場合は[iF system]、主装置がSiシリーズの場合は[Si system]、  
主装置がXシリーズの場合は[Xi system]  
と入力して「OK」をタップし、画面の下に「インストール完了」の旨のメッセージが表示されると、ルート証明書のインストールが完了となります。  
※ 端末にPINコードやパスワードのセキュリティ設定をしている場合、「OK」のタップ後に入力を促す画面が表示されることがあります。  
その場合、画面の指示に従ってPINコードやパスワードを入力してください。  
正しいPINコードやパスワードの入力後にルート証明書のインストールが完了となります。
  - Android11～の場合 ※機種によって設定の階層が異なります。
    1. 設定アプリを起動します。
    2. [セキュリティ]をタップします。
    3. [暗号化と認証情報]をタップします。
    4. [ストレージからのインストール]をタップします。
    5. [CA証明書]をタップします。
    6. [インストールする]をタップします。  
※ 端末にPINコードやパスワードのセキュリティ設定をしている場合、入力を促す画面が表示されることがあります。  
その場合画面の指示に従ってPINコードやパスワードを入力してください。
    7. ファイルアプリの[ダウンロード]から「cert.der」をタップするとルート証明書のインストールが完了となります。  
※ 証明書ファイルの拡張子は機種によって他名称に置き換えられることがあります。



- 以下のような場合は、一度端末にルート証明書をインストールしている場合であっても、必ず上記手順に従って各シリーズ用(※)の最新のルート証明書をインストールしてください(古いルート証明書は事前に削除してください)。  
※ 「Fシリーズの主装置を利用している場合はFシリーズ用のルート証明書」のように各主装置シリーズ用のルート証明書が必要となります。Fシリーズ用のルート証明書をSiシリーズの主装置で利用することはできません。
  - FシリーズからSiシリーズなど異なるシリーズの主装置へ入れ替えを行った場合



## 4. 操作方法

### ダイヤル

ダイヤル画面で指定したダイヤルで発信することができます。



- 1 タブバーの「ダイヤル」をタップする。



- 2 特番や電話番号をタップして、「発信」をタップする。



#### 【補足説明】

- ダイヤルを1文字削除する場合、 をタップします。
- ダイヤル全てを削除する場合、 をロングタップします。

3

発信方法の選択ダイアログが表示されるので、発信方法を選択する。

※「キャンセル」をタップすると、ダイヤル画面に戻る。

※発信方法を複数設定していない場合は、本手順のダイアログが表示されずに手順4の動作となる

(ただし、MA選択発信設定時及び携帯発信設定時に発信相手の特番または内線番号/電話番号が3桁以下の場合を除く。

詳細は、右記の補足説明欄をご覧ください。)



#### 【補足説明】

- MA発信 : 主装置の内線番号や特番を利用する場合は、MA発信を選択して発信します。
- MA選択発信 : 特番の後に追加ダイヤルが必要な発信の場合(外線番号指定や外線自動発信グループを選択後)は、MA選択発信を選択して発信します。  
※「MA選択発信」選択後に「MA選択発信を選択してください」のダイアログを表示します。そのままMA選択発信する場合は、表示されるMA選択発信設定の登録リストから発信に使用する設定データをタップしてください。
- 携帯発信 : 携帯からそのまま発信します。  
**主装置経由の発信にはなりません。**  
※発信相手の特番または内線番号/電話番号が3桁以下の場合、「携帯発信」選択後に「携帯発信します」の確認ダイアログを表示します。そのまま携帯発信する場合は、「OK」をタップしてください。
- IPBT転送 : 詳細は「IPBT電話機連携機能(電話番号転送からの主装置経由の発信)」のページをご覧ください。
- ラインキー発信 : 詳細は「ラインキー機能(発信)」のページをご覧ください。
- MA選択発信について、インターネット経由の発信時間短縮機能利用により、発信時間の短縮を行うことが可能です(「Siシリーズ主装置プログラム版数: 6-1版～」及び「本アプリケーションバージョン: 2.4.00～」)。  
その場合、MA選択発信設定の登録リストから設定データをタップ後に下記のようなダイアログが表示され、主装置へのダイヤルデータ送信後に手順4の動作となります。

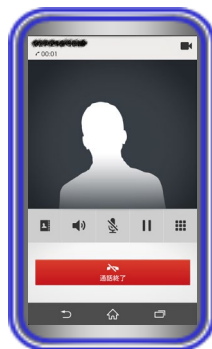


インターネットを経由する関係上、以下のような場合は、発信時間短縮機能を利用することができません。

- ①インターネットに接続できない場合
- ②端末ヘルド証明書がインストールしていない場合
- ③携帯ブラウザ連携機能の利用に必要な設定を正しく行っていない場合

4

標準電話アプリが自動で起動し、発信する。



#### 【補足説明】

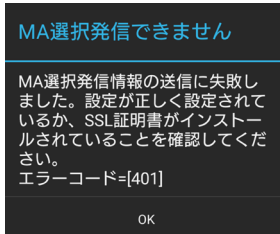
- 標準電話アプリの発信先の電話番号は、「主装置設定」の「主装置電話番号」で設定した電話番号になります。
- MA発信またはMA選択発信(発信時間短縮機能利用時は除く)の場合、相手応答後に「主装置設定」の「ポーズ時間」で設定した時間の待ち合わせをしてから特番送出します。

5

通話が終了したら標準電話アプリの「通話終了」ボタンをタップする。

## ご注意

- ダイヤル画面で入力可能なダイヤル桁数は24桁ですが、利用する端末の標準電話アプリケーションの仕様により、全てのダイヤルを受け付けない場合があります。
- 端末へルート証明書をインストールしていない場合、MA選択発信時に発信時間短縮機能を利用することができません。発信時間短縮機能を利用する場合は、事前にルート証明書を必ずインストールの上、関連する設定及び操作を行ってください。
- 手順3でMA選択発信の発信時間短縮機能利用時、主装置へのダイヤルデータ送信に失敗した場合は、下記のようなダイアログが表示されます。



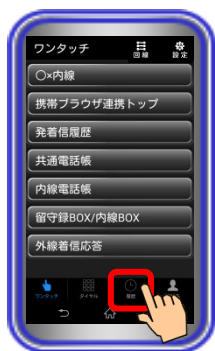
その場合の対処については、ダイアログ内に記載のエラーコードの内容（上記は一例）をご確認の上、主装置側の取扱説明書に記載の「携帯電話のブラウザを利用してリモート操作を行う」の内容をご覧いただくか、販売店にご確認ください。

## 4. 操作方法

### 履歴

本アプリケーションを利用して発信した履歴（「発信履歴」）と本アプリケーションで発信した履歴を併せて表示した履歴（「すべて」）を確認することができます。また、折り返し発信に利用することができます。

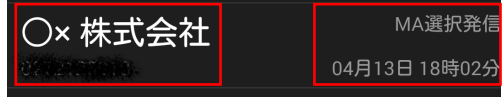
- 1 タブバーの「履歴」を  
タップする。



## 履歴画面が表示される。



すべて：本アプリケーションで発着信した履歴を表示  
 発信履歴：本アプリケーションを利用して発信した履歴のみ表示  
 ※アクティブな項目を青文字で表示



連絡先に登録済みの場合、「名称」と「特番または内線番号/電話番号」が表示される。  
 ※着信時番号取得機能を利用している場合も同様  
 上段：名称  
 下段：特番または内線番号/電話番号  
 連絡先に登録されていない場合は、上段に特番または内線番号/電話番号のみが表示される。

発信方法または着信の種類と、発信時または着信時の日時が表示される。(発信方法または着信の詳細については、補足説明欄の表をご覧ください)

## 【補足説明】

- 履歴をロングタップすると、履歴詳細を確認することができます。
- 履歴詳細画面で「発信」をタップすると、発信方法の選択ダイアログが表示されます。
- 連絡先に登録されていない履歴をロングタップすると、連絡先に登録することができます。(連絡先登録をタップした場合、標準連絡先アプリが起動します)
- 履歴を削除する場合、ごみ箱ボタンをタップします。「すべて」または「発信履歴」を表示中に「ごみ箱ボタン」をタップすると、全ての履歴が削除されます。
- 履歴詳細画面で「ごみ箱ボタン」をタップすると、表示中の履歴のみ削除されます。
- 着信時番号取得機能を利用している場合、連絡先に登録されていない相手からの着信時は、ダイアログ/バナーの1行目に表示された番号情報が履歴に表示されます。
- 履歴の最大表示件数は「すべて：100件」・「発信履歴：100件」とし、「すべて」の履歴が100件を超える場合は、古い履歴から順に削除されます。発信履歴の最大表示件数は、「すべて」の履歴（発着信履歴）から着信履歴を除いた履歴を表示するため、着信履歴の件数によっては変わる場合があります。

- 発信方法または着信の種類の詳細は下記の表の通りです。  
 ※携帯ブラウザ連携機能で端末の標準電話アプリから直接発信した場合(本アプリケーションバージョン:2.1.00~)やIPBT電話機連携機能で携帯発信した場合(本アプリケーションバージョン:2.0.00~)、ラインキー発信及びラインキー応答した場合(本アプリケーションバージョン:3.0.00~)においても、通常の携帯発信時と同様の履歴として表示されます。

発信方法	発信	
	発信	本アプリケーションから「携帯発信」で発信した場合に表示
	MA発信	本アプリケーションから「MA発信」で発信した場合に表示
	MA選択発信	本アプリケーションから「MA選択発信」で発信した場合に表示
	IPBT転送	本アプリケーションからIPBT電話機へ「IPBT転送」を行った場合に表示
	ラインキー発信	本アプリケーションから「ラインキー発信」で発信した場合に表示
着信	ラインキー応答	本アプリケーションのラインキー画面から着信や保留に応答した場合に表示
	MA着信	主装置から番号情報を取得後に着信応答した場合に表示
	MA不在着信	主装置から番号情報を取得後に着信応答しなかった場合に表示

3

発信したい履歴  
をタップする。



4

発信方法の選択ダイアログが表示されるので、発信方法を選択する。

※「キャンセル」をタップすると、履歴画面に戻る。

※発信方法を複数設定していない場合は、本手順のダイアログが表示されずに手順5の動作となる（ただし、MA選択発信設定時及び携帯発信設定時に発信相手の特番または内線番号/電話番号が3桁以下の場合を除く。詳細は、右記の補足説明欄をご覧ください）。



#### 【補足説明】

- MA発信 : 主装置の内線番号や特番を利用する場合は、MA発信を選択して発信します。
- MA選択発信 : 特番の後に追加ダイヤルが必要な発信の場合(外線番号指定や外線自動発信グループを選択後)は、MA選択発信を選択して発信します。  
※「MA選択発信」選択後に「MA選択発信を選択してください」のダイアログを表示します。そのままMA選択発信する場合は、表示されるMA選択発信設定の登録リストから発信に使用する設定データをタップしてください。
- 携帯発信 : 携帯からそのまま発信します。  
**主装置経由の発信にはなりません。**  
※発信相手の特番または内線番号/電話番号が3桁以下の場合、「携帯発信」選択後に「携帯発信します」の確認ダイアログを表示します。そのまま携帯発信する場合は、「OK」をタップしてください。
- IPBT転送 : 詳細は「IPBT電話機連携機能（電話番号転送からの主装置経由の発信）」のページをご覧ください。
- ラインキー発信 : 詳細は「ラインキー機能(発信)」のページをご覧ください。
- MA選択発信について、インターネット経由の発信時間短縮機能利用により、発信時間の短縮を行うことが可能です（「Siシリーズ主装置プログラム版数：6-1版～」及び「本アプリケーションバージョン：2.4.00～」）。その場合、MA選択発信設定の登録リストから設定データをタップ後に下記のようなダイアログが表示され、主装置へのダイヤルデータ送信後に手順5の動作となります。

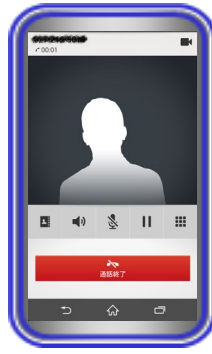


インターネットを経由する関係上、以下のような場合は、発信時間短縮機能を利用することができません。

- ①インターネットに接続できない場合
- ②端末ヘルド証明書がインストールしていない場合
- ③携帯ブラウザ連携機能の利用に必要な設定を正しく行っていない場合

5

標準電話アプリが  
自動で起動し、  
発信する。



#### 【補足説明】

- 標準電話アプリの発信先の電話番号は、「主装置設定」の「主装置電話番号」で設定した電話番号になります。
- MA発信またはMA選択発信（発信時間短縮機能利用時は除く）の場合、相手応答後に「主装置設定」の「ポーズ時間」で設定した時間の待ち合わせをしてから特番送出します。

6

通話が終了したら標準電話アプリの  
「通話終了」ボタンをタップする。

### ご注意

- 着信時番号取得機能利用時、主装置からのMA着信と同時にMA以外の着信があった場合、タイミングにより本アプリケーションの着信履歴にMA着信の履歴として表示され、応答した通話と本アプリケーションの履歴が不一致となることがあります。
- 端末ヘルト証明書をインストールしていない場合、MA選択発信時に発信時間短縮機能を利用することができません。発信時間短縮機能を利用する場合は、事前にルート証明書を必ずインストールの上、関連する設定及び操作を行ってください。
- 手順4でMA選択発信の発信時間短縮機能利用時、主装置へのダイヤルデータ送信に失敗した場合は、下記のようなダイアログが表示されます。

#### MA選択発信できません

MA選択発信情報の送信に失敗しました。設定が正しく設定されているか、SSL証明書がインストールされていることを確認してください。  
エラーコード=[401]

OK

その場合の対処については、ダイアログ内に記載のエラーコードの内容（上記は一例）をご確認の上、主装置側の取扱説明書に記載の「携帯電話のブラウザを利用してリモート操作を行う」の内容をご覧ください。販売店にご確認ください。

- 履歴として保存されている25桁以上の番号に対してMA選択発信の発信時間短縮機能を利用した場合、主装置へのダイヤルデータ送信が成功した場合でも正常に発信できないことがあります。
- 履歴として保存されている「\*、#、-」以外の文字列を含む番号に対しては、MA選択発信の発信時間短縮機能を利用することができません（主装置へのダイヤルデータ送信に失敗するため）。

## 4. 操作方法

### 連絡先

スマートフォンで利用している標準連絡先を本アプリケーションで利用します。  
お気に入りボタンをタップすると、お気に入り登録されている連絡先のみを表示します。

#### 1 タバーの「連絡先」をタップする。



#### 【補足説明】

- ・「連絡先」をタップ後は、下記のようなダイアログが表示され、連絡先の取得を行います（本アプリケーションバージョン：2.1.00～）。標準連絡先の登録件数が多い場合、ダイアログの表示時間が長くなる場合があります。また、連絡先画面が表示されることにダイアログは表示されません。
- ※ダイアログ表示中に連絡先の取得に失敗して正常に連絡先が表示されない場合は、必ず本アプリケーションを再起動してからご利用ください。



#### 2 連絡先画面が表示される。



すべて：すべての連絡先を表示  
お気に入り：お気に入り登録されている連絡先を表示  
※アクティブな項目を青文字で表示

#### 【補足説明】

- ・連絡先をロングタップすると、連絡先の詳細を確認することができます。
- ・連絡先詳細画面でお気に入り登録、解除することができます。



- ・連絡先詳細画面で「連絡先編集」をタップすると、スマートフォンの標準電話アプリにおける連絡先編集画面が表示されるので、連絡先情報の編集を行うことができます。
- ・連絡先詳細画面で電話番号をタップすると、発信ダイアログが表示されます。
- ・連絡先は、スマートフォンに標準インストールされている連絡先（または電話帳）を利用しています。複数の連絡先アプリを利用している場合、重複表示される場合があります。



3

発信したい連絡先  
をタップする。



#### 【補足説明】

- 連絡先画面でインデックス検索をすることが可能です。右側のインデックス表示をタップすると、検索データの先頭に表示が移動します。
- 連絡先画面のインデックス検索について、検索データは連絡先に登録されたふりがなを利用します。  
※「他」の表示については、英数字と記号、ふりがな登録無しをまとめて表示します。

4

発信方法の選択ダイアログが表示されるので、発信方法を選択する。

※「キャンセル」をタップすると、連絡先画面に戻る。

※発信方法を複数設定していない場合は、本手順のダイアログが表示されずに手順5の動作となる

(ただし、MA選択発信設定時及び携帯発信設定時に発信相手の特番または内線番号/電話番号が3桁以下の場合は除く。

詳細は、右記の補足説明欄をご覧ください。)



#### 【補足説明】

- MA発信 : 主装置の内線番号や特番を利用する場合は、MA発信を選択して発信します。
- MA選択発信 : 特番の後に追加ダイヤルが必要な発信の場合(外線番号指定や外線自動発信グループを選択後)は、MA選択発信を選択して発信します。  
※「MA選択発信」選択後に「MA選択発信を選択してください」のダイアログを表示します。そのままMA選択発信する場合は、表示されるMA選択発信設定の登録リストから発信に使用する設定データをタップしてください。
- 携帯発信 : 携帯からそのまま発信します。  
**主装置経由の発信にはなりません。**  
※発信相手の特番または内線番号/電話番号が3桁以下の場合は、「携帯発信」選択後に「携帯発信します」の確認ダイアログを表示します。  
そのまま携帯発信する場合は、「OK」をタップしてください。
- IPBT転送 : 詳細は「IPBT電話機連携機能(電話番号転送からの主装置経由の発信)」のページをご覧ください。
- ラインキー発信 : 詳細は「ラインキー機能(発信)」のページをご覧ください。
- MA選択発信について、インターネット経由の発信時間短縮機能利用により、発信時間の短縮を行うことが可能です  
(「Siシリーズ主装置プログラム版数:6-1版～」及び「本アプリケーションバージョン:2.4.00～」)。  
その場合、MA選択発信設定の登録リストから設定データをタップ後に下記のようなダイアログが表示され、主装置へのダイヤルデータ送信後に手順5の動作となります。

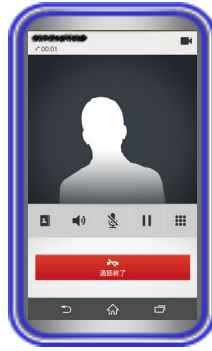


インターネットを経由する関係上、以下のような場合は、発信時間短縮機能を利用することができません。

- ①インターネットに接続できない場合
- ②端末ヘルド証明書を実インストールしていない場合
- ③携帯ブラウザ連携機能の利用に必要な設定を正しく行っていない場合

5

標準電話アプリが  
自動で起動し、  
発信する。



#### 【補足説明】

- 標準電話アプリの発信先の電話番号は、「主装置設定」の「主装置電話番号」で設定した電話番号になります。
- MA発信またはMA選択発信（発信時間短縮機能利用時は除く）の場合、相手応答後に「主装置設定」の「ポーズ時間」で設定した時間の待ち合わせをしてから特番送出します。

6

通話が終了したら標準電話アプリの  
「通話終了」ボタンをタップする。

## ご注意

- 端末ヘルート証明書をインストールしていない場合、MA選択発信時に発信時間短縮機能を利用することができません。発信時間短縮機能を利用する場合は、事前にルート証明書を必ずインストールの上、関連する設定及び操作を行ってください。
- 手順4でMA選択発信の発信時間短縮機能利用時、主装置へのダイヤルデータ送信に失敗した場合は、下記のようなダイアログが表示されます。

### MA選択発信できません

MA選択発信情報の送信に失敗しました。設定が正しく設定されているか、SSL証明書がインストールされていることを確認してください。  
エラーコード=[401]

OK

その場合の対処については、ダイアログ内に記載のエラーコードの内容（上記は一例）をご確認の上、主装置側の取扱説明書に記載の「携帯電話のブラウザを利用してリモート操作を行う」の内容をご覧ください。販売店にご確認ください。

- 連絡先として登録されている25桁以上の番号に対してMA選択発信の発信時間短縮機能を利用した場合、主装置へのダイヤルデータ送信が成功した場合でも正常に発信できないことがあります。
- 連絡先として登録されている「\*、#、-」以外の文字列を含む番号に対しては、MA選択発信の発信時間短縮機能を利用することができません（主装置へのダイヤルデータ送信に失敗するため）。

# 4. 操作方法

## 着信時番号取得機能（HTTPS 通信）

- 主装置からのMA着信時にHTTPS通信を使って番号情報を取得し、ダイアログに表示することができます。
- ※1：本アプリケーションバージョン：1.1.00～、iFシリーズは【主装置プログラム版数：5-1版～】利用可能
  - ※2：スリープ状態(画面ロック時)からのMA着信の場合のみ、ダイアログではなく画面上部のバナーに番号情報が表示されます（本アプリケーションバージョン：2.3.00～）
  - ※3：iFシリーズの【主装置プログラム版数：6-1版～】で、「転送電話モード」または「内線一般着信」の外線転送で着信が入った場合、番号取得ができるようになります。

1

主装置からのMA着信時、ダイアログに取得した番号情報が表示される。



スリープ状態時にMA着信するとダイアログではなく画面上部にバナーが表示される。



### 【補足説明】

- 発信元の情報が主装置の共通電話帳/内線電話帳に登録されている場合、登録内容がダイアログ/バナーに表示されます。
- ダイアログに表示される内容は以下のとおりです。

	【内線着信時】	【外線着信時】
1 行目	内線番号	電話番号
2 行目	内線名称	相手名称
3 行目	-	付加情報 1
4 行目	-	付加情報 2

- バナーに表示される内容は以下のとおりです。

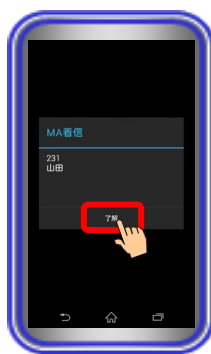
	【内線着信時】	【外線着信時】
1 行目	「MA 着信」+内線番号	「MA 着信」+電話番号
2 行目	内線名称	相手名称

- バナーに関する詳細事項は以下のとおりです。
  - ① 標準電話アプリの着信画面が表示されている間は、本バナーの表示を継続します。本バナーの表示で番号情報を確認後(次ページ手順2の操作は不要)、着信に回答してください。ただし、本バナーをタップした場合、画面ロックの解除後にダイアログへ番号情報が表示されます(本アプリケーションバージョン：2.5.00～)。その場合は、手順2の操作後に着信へ回答してください。
  - ② OS や他のアプリケーションの動作によって、着信画面以外の画面が表示された場合、本バナーは非表示となることがあります。
  - ③ 本バナーの表示中は機種や OS の設定により、通知音及びバイブレーションが鳴動します。
  - ④ 着信に回答後、本バナーは通知バーに残りません。
  - ⑤ 本バナー/他のアプリケーションから通知されたバナーを上へスワイプして非表示にした場合、OS 動作によって、約 1 分間は本バナー/他のアプリケーションから通知されたバナーの表示ができません。
  - ⑥ 端末側の「アプリの通知」の設定について、通知の設定及び通知のカテゴリ(発信者情報表示通知)の設定が「無効」の場合など設定によっては、本バナーが表示されません。
    - ※通知の設定及び通知のカテゴリ(発信者情報表示通知)に関する設定は新規インストール/Ver.[2.3.00]以上のバージョンに更新後の初期値から変更せずに、本アプリケーションをご利用ください。
- 発信元の発信条件により、ダイアログとバナーの 1 行目に表示される電話番号は以下の文字が表示される場合があります。

非通知	発信元が番号を表示しない操作をしたとき、または表示しない契約になっている。
公衆電話	発信元が公衆電話から発信している。
表示圏外	発信元がサービスの契約条件や回線の条件により電話番号を通知できない。

- 番号が通知されない着信の場合、「相手がわかりません」や「相手不明」が表示されることがあります。表示内容は主装置のデータ設定で変更でき、表示無しとすることもできます(表示無しの場合、バナー及びダイアログは表示されません)。
- 以下のような場合は、主装置からの MA 着信時にダイアログ/バナーが表示されません。
  - ① MA着信以外の着信。
  - ② 発信元の内線番号が未設定。
  - ③ インターネットに接続できない。
  - ④ 端末がスリープ状態等で着信画面の表示が遅れた。

- 2 ダイアログに表示された番号情報を確認後、「了解」をタップする。



【補足説明】

- ダイアログ表示中、端末の通知バー操作や起動履歴キーの操作等は可能です。

- 3 標準電話アプリの画面が表示されているので、着信に応答する。 【補足説明】

- 画面表示は機種によって異なります。

### ご注意

- ご利用のネットワーク環境によっては、ダイアログ/バナーが正しく表示されないことがあります。
- 主装置からのMA着信と同時にMA以外の着信があった場合、ダイアログ/バナーの番号情報が正しく表示されないことがあります。
- 主装置の共通電話帳/内線電話帳に登録されている情報に外字が含まれていた場合は、全角スペースに置き換えて表示されます。
- 本アプリケーションバージョン：2.0.00より、端末ヘルト証明書をインストールしていない場合はダイアログ/バナーが表示されません。事前にルート証明書を必ずインストールの上、本機能に関する設定を行ってください。
- 「転送電話モード」または「内線一般着信」からの外線転送によるMA着信時、主装置側で複数の転送先に同一の端末の電話番号を設定している場合、取得した番号をダイアログに表示できないことがあります。

## 4. 操作方法

### 着信時番号取得機能 (Push 通知)

主装置からのMA着信時にPush通知を使って番号情報を取得し、バナー及びダイアログに表示することができます。

着信時番号取得機能(Push通知)は、「Siシリーズ主装置プログラム版数：7-1版～」及び「本アプリケーションバージョン：3.0.00～」で利用可能です。主装置容量でfシリーズを選択している場合は利用できません。

- 1 主装置からの MA 着信時に表示されるバナーをタップする。



#### 【補足説明】

- 発信元の情報が主装置の共通電話帳/内線電話帳に登録されている場合、登録内容がバナーに表示されます。表示内容は以下のとおりです。

	【内線着信時】	【外線着信時】
1 行目	「MA 着信」+内線番号	「MA 着信」+電話番号
2 行目	内線名称	相手名称

- 発信元の発信条件により、バナーの1行目は以下のように表示されることがあります。

非通知	発信元が番号を表示しない操作をしたとき、または表示しない契約になっている。
公衆電話	発信元が公衆電話から発信している。
表示圏外	発信元がサービスの契約条件や回線の条件により電話番号を通知できない

- 番号が通知されない着信の場合、「相手がわかりません」や「相手不明」が表示されることがあります。表示内容は主装置のデータ設定で変更でき、表示無しとすることもできます(表示無しの場合、バナーは表示されません)。
- 着信応答後、バナーは通知バーには残りません。
- 端末側の「アプリの通知」の設定について、通知の設定及び通知のカテゴリ(発信者情報表示通知)に関する設定は初期値から変更せずに本アプリケーションをご利用ください。
- 以下のような場合は、主装置からの MA 着信時にバナーは表示されません。
  - MA 着信以外の着信。
  - 発信元の内線番号が未設定。
  - インターネットに接続できない。
  - 端末がスリープ状態等で着信画面の表示が遅れた。

- 2 ダイアログに表示された番号情報を確認後、「了解」をタップする。



#### 【補足説明】

- 発信元の情報が主装置の共通電話帳/内線電話帳に登録されている場合、登録内容がダイアログに表示されます。表示内容は以下のとおりです。

	【内線着信時】	【外線着信時】
1 行目	内線番号	電話番号
2 行目	内線名称	相手名称
3 行目	-	付加情報 1
4 行目	-	付加情報 2

- 発信元の発信条件により、「非通知」「公衆電話」「表示圏外」が表示されます。詳細は手順1の補足説明をご覧ください。
- 番号が通知されない着信の場合、「相手がわかりません」や「相手不明」が表示されることがあります。表示内容は主装置のデータ設定で変更でき、表示無しとすることもできます(表示無しの場合、ダイアログは表示されません)。
- ダイアログ表示中、端末の通知バー操作や起動履歴キーの操作等は可能です。

**ご注意**

- ご利用のネットワーク環境によっては、ダイアログ/バナーが正しく表示されないことがあります。
- 主装置からのMA着信と同時にMA以外の着信があった場合、ダイアログ/バナーの番号情報が正しく表示されないことがあります。
- 主装置の共通電話帳/内線電話帳に登録されている情報に外字が含まれていた場合は、全角スペースに置き換えて表示されます。
- 着信時番号取得機能(Push通知)を使用するには端末に主装置のルート証明書をインストールしている必要があります。インストール方法は「4. 操作方法」の「ワンタッチ（携帯ブラウザ連携）」の「ご注意」をご覧ください。

## 4. 操作方法

### URL スキーム発信機能

外部アプリケーションに表示されている電話番号をタップすることで本アプリケーションを起動し、各種発信を行うことができます。※本アプリケーションに対応している外部アプリケーション及び「本アプリケーションバージョン：2.0.00」より利用可能

- 1 外部アプリケーションに表示されている電話番号のリンクをタップするとアプリの選択画面が表示されるので、本アプリケーションを選択する。  
※画面は一部機種の場合の例です。実際は若干異なることもあります。



- 2 ダイヤル画面に電話番号が表示された状態で本アプリケーションが起動するので、「発信」をタップする。



#### 【補足説明】

- パスワードを設定している場合は、ダイヤル画面が表示される前にパスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力して「OK」ボタンをタップすると、ダイヤル画面が表示されます。
- ※誤ったパスワードを入力した場合、その後正しいパスワードを入力してもダイヤル画面は表示されず、基本スクリーンに設定している画面が表示されます。その後、タブバーの「ダイヤル」をタップしても電話番号は表示されません。

3

発信方法の選択ダイアログが表示されるので、発信方法を選択する。

※「キャンセル」をタップすると、ダイヤル画面に戻る。

※発信方法を複数設定していない場合は、本手順のダイアログが表示されずに手順4の動作となる

(ただし、MA選択発信設定時及び携帯発信設定時に発信相手の特番または内線番号/電話番号が3桁以下の場合は除く。

詳細は、右記の補足説明欄をご覧ください。)



#### 【補足説明】

- MA発信 : 主装置の内線番号や特番を利用する場合は、MA発信を選択して発信します。
- MA選択発信 : 特番の後に追加ダイヤルが必要な発信の場合(外線番号指定や外線自動発信グループを選択後)は、MA選択発信を選択して発信します。  
※「MA選択発信」選択後に「MA選択発信を選択してください」のダイアログを表示します。そのままMA選択発信する場合は、表示されるMA選択発信設定の登録リストから発信に使用する設定データをタップしてください。
- 携帯発信 : 携帯からそのまま発信します。  
**主装置経由の発信にはなりません。**  
※発信相手の特番または内線番号/電話番号が3桁以下の場合は、「携帯発信」選択後に「携帯発信します」の確認ダイアログを表示します。  
そのまま携帯発信する場合は、「OK」をタップしてください。
- IPBT転送 : 詳細は「IPBT電話機連携機能(電話番号転送からの主装置経由の発信)」のページをご覧ください。
- ラインキー発信 : 詳細は「ラインキー機能(発信)」のページをご覧ください。
- MA選択発信について、インターネット経由の発信時間短縮機能利用により、発信時間の短縮を行うことが可能です(「Siシリーズ主装置プログラム版数: 6-1版～」及び「本アプリケーションバージョン: 2.4.00～」)。その場合、MA選択発信設定の登録リストから設定データをタップ後に下記のようなダイアログが表示され、主装置へのダイヤルデータ送信後に手順4の動作となります。

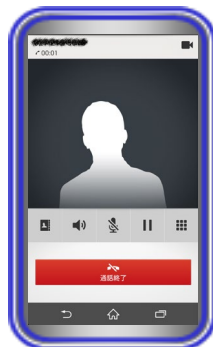


インターネットを経由する関係上、以下のような場合は、発信時間短縮機能を利用することができません。

- ①インターネットに接続できない場合
- ②端末ヘルド証明書がインストールしていない場合
- ③携帯ブラウザ連携機能の利用に必要な設定を正しく行っていない場合

4

標準電話アプリが自動で起動し、発信する。



#### 【補足説明】

- 標準電話アプリの発信先の電話番号は、「主装置設定」の「主装置電話番号」で設定した電話番号になります。
- MA発信またはMA選択発信(発信時間短縮機能利用時は除く)の場合、相手応答後に「主装置設定」の「ポーズ時間」で設定した時間の待ち合わせをしてから特番送ります。

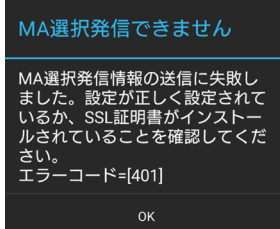
5

通話が終了したら標準電話アプリの「通話終了」ボタンをタップする。



## ご注意

- 使用している外部アプリケーションによっては、外部アプリケーション側の制約などで本機能を利用できないことがあります。
- 端末ヘルト証明書をインストールしていない場合、MA選択発信時に発信時間短縮機能を利用することができません。  
発信時間短縮機能を利用する場合は、事前にルート証明書を必ずインストールの上、関連する設定及び操作を行ってください。
- 手順3でMA選択発信の発信時間短縮機能利用時、主装置へのダイヤルデータ送信に失敗した場合は、下記のようなダイアログが表示されます。



その場合の対処については、ダイアログ内に記載のエラーコードの内容（上記は一例）をご確認の上、主装置側の取扱説明書に記載の「携帯電話のブラウザを利用してリモート操作を行う」の内容をご覧ください。販売店にご確認ください。

## 4. 操作方法

### IPBT電話機連携機能（電話番号転送からの主装置経由の発信）

本アプリケーションから主装置に接続したIPBT電話機へ電話番号を転送し、IPBT電話機から主装置経由の発信を行うことができます。 ※本機能は「Siシリーズ主装置プログラム版数：1-1版～」及び「本アプリケーションバージョン：2.0.00～」で利用可能

- 1 ダイヤル画面で特番や電話番号を入力後に、「発信」をタップする。



#### 【補足説明】

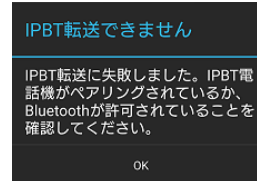
- 事前に本アプリケーションとIPBT電話機がペアリングしていることが本機能を利用する前提条件となります。ペアリング設定について記載しているページを参考に、必ず事前にペアリング設定を行ってください。
- ワンタッチ画面/履歴画面/連絡先画面からも本機能の利用は可能です。その場合は、発信する特番や電話番号のボタンまたはリストをタップしてください。

- 2 発信方法の選択ダイアログが表示されるので、「IPBT転送」をタップする。  
※「キャンセル」をタップすると、ダイヤル画面に戻る。



#### 【補足説明】

- 端末の「Bluetooth設定」が無効またはIPBT電話機とペアリングしていない場合は、以下エラーダイアログが表示されます。設定の見直しを行ってください。



- 3 数秒後にIPBT転送完了のダイアログが表示されるので、OKをタップする。  
その後、IPBT転送が成功していればIPBT電話機から主装置経由の発信が可能となる。



#### 【補足説明】

- IPBT転送成功以降の操作や動作の詳細については、IPBT電話機側の取扱説明書をご覧ください。
- IPBT転送後に本アプリケーション側から追加ダイヤル等の操作はできません。必要時はIPBT電話機側で操作を行ってください。

### ご注意

- 本アプリケーションからIPBT電話機へ転送できる文字列は、「0～9、\*、#」となります。記号等は転送できません。履歴画面や連絡先画面から本機能を利用する際、履歴の表示内容や連絡先の登録内容に「-」が含まれている場合は、「-」を除いた文字列がIPBT電話機へ転送されます（本アプリケーションバージョン：2.1.00～）。

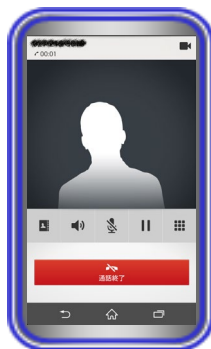
## 4. 操作方法

### IPBT電話機連携機能（本アプリケーションからの携帯発信）

主装置に接続したIPBT電話機から本アプリケーションへ電話番号の通知を行い、本アプリケーションから携帯発信を行うことができます。 ※本機能は「Siシリーズ主装置プログラム版数：1-1版～」及び「本アプリケーションバージョン：2.0.00～」で利用可能

1

IPBT電話機側で電話番号の通知操作を行うと、通知された電話番号へ本アプリケーションからの携帯発信の動作となる。



#### 【補足説明】

- 事前に本アプリケーションとIPBT電話機がペアリングしていること及び端末の「Bluetooth」設定においてもIPBT電話機とペアリングしていることが本機能を利用する前提条件となります。ペアリング設定について記載しているページ及びIPBT電話機側の取扱説明書を参考に、必ずペアリング設定を行ってください。
- IPBT電話機側での電話番号通知の操作方法や本アプリケーションからの携帯発信以降の動作については、IPBT電話機側の取扱説明書をご覧ください。
- 本アプリケーションがバックグラウンドの状態の場合（ペアリングを正常に行えていることが前提）も本機能の利用が可能です。

## 4. 操作方法


### ラインキー機能（状態表示）

主装置に設定されたラインキーの状態を表示することができます。

ラインキーのランプ表示(点灯/点滅)は主装置の電話機のランプ表示と同じです。

ラインキーの名称表示部分には「外線01～96」「DILINO1～96」「着信」「パーク」「機能なし」とラインキー名称設定に設定された文字が表示されます。

ラインキー機能は、「Siシリーズ主装置プログラム版数：7-1版～」及び「本アプリケーションバージョン：3.0.00～」で利用可能です。主装置容量でiFシリーズを選択している場合は利用できません。

- 1 ラインキーアイコン  をタップする。最新のラインキー画面が表示される。



#### 【補足説明】

- ラインキーアイコンをタップ後、ラインキー情報取得中画面が表示され、取得が完了するとラインキー画面が更新されます。

- 2 ラインキー画面を下方方向にスワイプする。最新のラインキーの状態に更新される。



#### 【補足説明】

- スワイプ後、ラインキー情報取得中画面が表示され、取得が完了するとラインキー画面が更新されます。

### ご注意

- ラインキー機能を使用するには端末に主装置のルート証明書をインストールしている必要があります。インストール方法は「4. 操作方法」の「ワンタッチ（携帯ブラウザ連携）」の「ご注意」をご覧ください。
- ラインキー情報の取得に失敗した時は、下記のようなエラーダイアログが表示されます。ダイアログ内の説明に従い設定などの見直しを行ってください。

ラインキー情報が取得できません

ラインキー情報の取得に失敗しました。  
ネットワーク環境や設定を見直してください。  
エラーコード=[1000]

OK

エラーダイアログ内の説明で解決できない場合は、販売店にお問い合わせください。

## 4. 操作方法

### ラインキー機能（発信）

ラインキーに設定された「外線」「DILIN」「着信」を選択して、発信することができます。

#### 1 ダイヤル画面で相手番号をダイヤルし、「発信」をタップする。

※ダイヤル以外の発信方法については、「4.操作方法」の「ワンタッチ（発信）」「履歴」「連絡先」「URL スキーム発信機能」をご覧ください。



#### 【補足説明】

- 「発信」タップ後、発信方法を選択する画面が表示される場合は、「ラインキー発信」をタップしてください。

#### 2 ラインキー画面で発信に使用するラインキーをタップする。



#### 【補足説明】

- ラインキーをタップすると、ラインキー押下情報送信中画面が表示され、プリセクション状態になり、「発信/応答」のタップが有効になります。
- ラインキー押下情報送信時に、下記のようなエラーダイアログが表示される場合があります。ダイアログ内の説明に従い、設定などの見直しを行ってください。

ラインキー押下情報が送信できません

ラインキー押下情報の送信に失敗しました。ネットワーク環境や設定を見直してください。  
エラーコード=[1000]

OK

- プリセクションは15秒で解除されます。
- 「発信/応答」タップ前に、別のラインキーに選択し直すことができます。

#### 3 「発信/応答」をタップする。



#### 【補足説明】

- 「発信/応答」をタップ後、オフフック情報送信中画面になり、送信が完了すると標準電話アプリケーションの発信画面に切り替わります。
- オフフック情報送信時に、下記のようなエラーダイアログが表示される場合があります。ダイアログ内の説明に従い、設定などの見直しを行ってください。

オフフック情報が送信できません

オフフック情報の送信に失敗しました。ネットワーク環境や設定を見直してください。  
エラーコード=[1000]

OK

- 「発信/応答」をタップ後、主装置の状態によっては発信できない場合があります。

### ご注意

- ラインキー発信できる文字列は「0～9、\*、#」となります。記号などは発信できません。
- ラインキー押下情報送信時及びオフフック情報送信時に表示されるエラーダイアログの説明で解決できない場合は、販売店にお問い合わせください。

## 4. 操作方法

### ラインキー機能（応答）

ラインキーに設定された「外線」「DILIN」「着信」「パーク」を選択して、着信や保留に応答することができます。

1

主装置経由で着信時に表示される「バナー」またはラインキーアイコンをタップする。



#### 【補足説明】

- バナー表示が時間経過やスワイプなどで非表示になった場合は、ラインキーアイコンをタップしてください。
- バナー及びラインキーアイコンをタップすると、ラインキー情報取得中画面が表示され、取得が成功するとラインキー画面が表示されます。

2

着信中または保留中のラインキーをタップする。



#### 【補足説明】

- ラインキーをタップすると、ラインキー押下情報送信中画面が表示され、プリセクション状態になり、「発信/応答」のタップが有効になります。
- ラインキー押下情報送信時に、下記のようなエラーダイアログが表示される場合があります。ダイアログ内の説明に従い、設定などの見直しを行ってください。

ラインキー押下情報が送信できません

ラインキー押下情報の送信に失敗しました。ネットワーク環境や設定を見直してください。  
エラーコード=[1000]

OK

- プリセクションは15秒で解除されます。
- プリセクション中は、「相手番号」及び「相手名称」が表示されます。
- 「発信/応答」のタップ前に、別のラインキーに選択し直すことができます。

3

「発信/応答」をタップする。



#### 【補足説明】

- 「発信/応答」をタップ後、オフフック情報送信中画面になり、送信が完了すると標準電話アプリケーションの発信画面に切り替わります。
- オフフック情報送信時に、下記のようなエラーダイアログが表示される場合があります。ダイアログ内の説明に従い、設定などの見直しを行ってください。

オフフック情報が送信できません

オフフック情報の送信に失敗しました。ネットワーク環境や設定を見直してください。  
エラーコード=[1000]

OK

- 「発信/応答」をタップ後、他の電話機が先に応答した場合は、応答できません。

### ご注意

- ラインキー押下情報送信時及びオフフック情報送信時に表示されるエラーダイアログの説明で解決できない場合は、販売店にお問い合わせください。